

製品名: IL-2R β ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12548

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	IL2RB
別名	IL2RB; Interleukin-2 receptor subunit beta; IL-2 receptor subunit beta; IL-2R subunit beta; IL-2RB; High affinity IL-2 receptor subunit beta; p70-75; p75; CD antigen CD122
遺伝子 ID	3560.0
SwissProt ID	P14784
免疫原	抗血清はヒト IL-2R β 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 331-380

背景

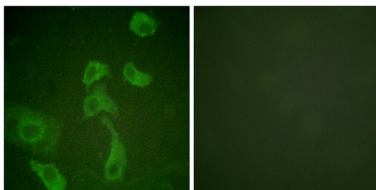
T細胞を介した免疫応答に関与するインターロイキン2受容体には、インターロイキン2への結合能に関して3つの形態が存在する。

低親和性形態は α サブユニットの単量体であり、シグナル伝達には関与しない。中親和性形態は α/β サブユニットヘテロ二量体から構成され、高親和性形態は $\alpha/\beta/\gamma$ サブユニットヘテロ三量体から構成される。中親和性形態および高親和性形態の受容体はいずれも、受容体を介したエンドサイトーシスおよびインターロイキン 2 からの細胞分裂促進シグナルの伝達に関与する。この遺伝子によってコードされるタンパク質は β サブユニットであり、I型膜タンパク質である。代替プロモーターの使用により、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが生じる。このタンパク質は主に造血系で発現される。一部のバリエーションでは、アップドメインにおいて代替プロモーターが使用されています。ボックス 1 モチーフは、JAK との相互作用および/または活性化に必要です。ドメイン WSXWS モチーフは、適切なタンパク質フォールディング、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体への結合に必要と考えられます。機能インターロイキン-2 の受容体。このベータ サブユニットは受容体を介したエンドサイトーシスに関与し、IL-2 の細胞分裂促進シグナルを伝達します。類似性 I 型サイトカイン受容体ファミリーに属します。タイプ 4 サブファミリー。類似性 III 型フィブロネクチンドメインを 1 つ含みます。サブユニット α 鎖と β 鎖の非共有結合型二量体。IL-2R には、高親和性二量体、中親和性単量体 (β 鎖)、および低親和性単量体 (α 鎖) の 3 つの異なる形態があります。高親和性および中親和性 HTLV-1 アクセサリタンパク質 p12I と相互作用します。

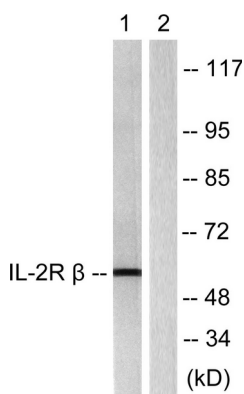
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;エンドサイトーシス;Jak_STAT;

画像データ



IL-2R β 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



IL-2R β 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。